

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

次のステージに進むための挑戦

アクモスジャンクション

- 車検用納税確認支援システム
- 人を育てる「社員が学び成長する環境の整備」

アクモス 株式会社

証券コード：6888

2025
Vol. 22

トップメッセージ



代表取締役会長 兼 CEO
飯島 秀幸

代表取締役社長 兼 COO
清川 明宏

次のステージに進むための挑戦

2025年6月期のご報告 事業拡大に向け人財投資を積極的に進める

2024年7月、私たちアクモスグループは、「Challenging Mind『挑戦する心』」を社是として、事業の拡大と高付加価値化を実現し、新たな顧客を創造する」をビジョンとする中期経営計画2027（2024/07－2027/06）をスタート

させました。前中期経営計画（中期経営計画Ⅲ）での事業伸長を受けて、次のステージを目指して、新たな中期経営計画では最終年度のグループ売上高100億円を目標として掲げました。ICT領域においては、技術革新がかつてないスピードで進展しており、特にAIは企業のあらゆる業務分野に欠かせない技術として実装が本格化しています。アクモスグループとして、ICTの領域

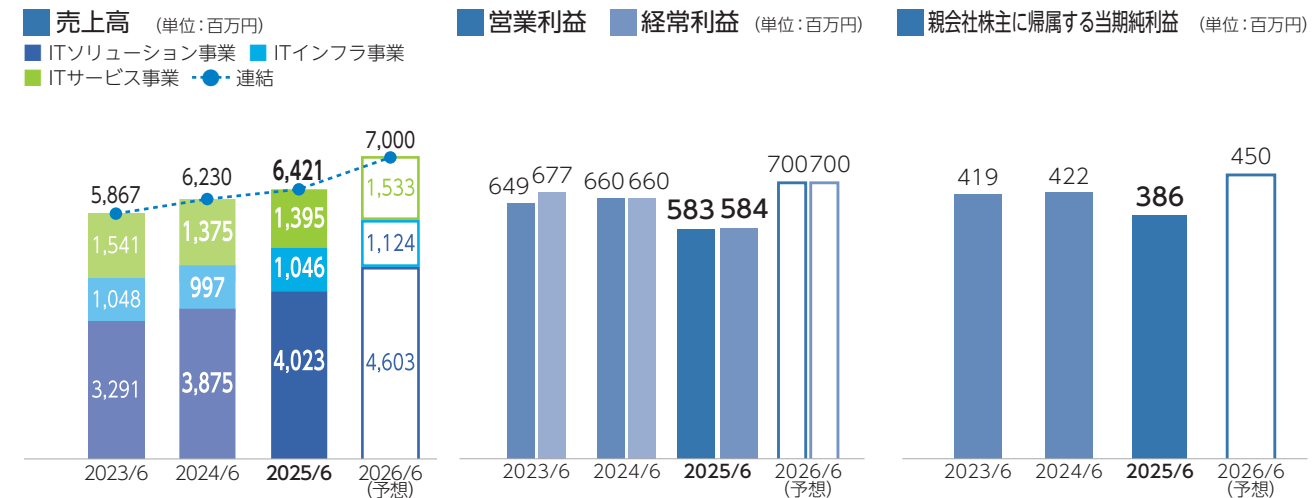
において持続的に成長し、社会的な価値と経済的な価値を提供し続けるには、私たち一人ひとりが「挑戦する心」を胸に、恐れずに挑戦し、たとえ失敗したとしても、学びを活かして挑戦し続けることが大切だと考えております。

2025年6月期は、中期経営計画2027（2024/07-2027/06）の初年度にあたり、Business（事業）×Members（人財）×Value（付加価値）三分野での挑戦を進め、収益性と成長性を軸に事業ポートフォリオのポジショニングに応じた事業戦略を推進してまいりました。具体的には成長投資領域（Growth）である消防防災事業、ネットワーク事業に集中して投資を行い、維持伸長領域（Core）では、前期取得の連結子会社（※1）の貢献があったシステムエン

ジニアリング事業をはじめとして、高収益事業へのシフト等を進めました。

※1 2024年1月11日付で株式を取得し連結子会社化した、SI・ソフトウェア開発事業の株式会社プライムシステムデザイン。

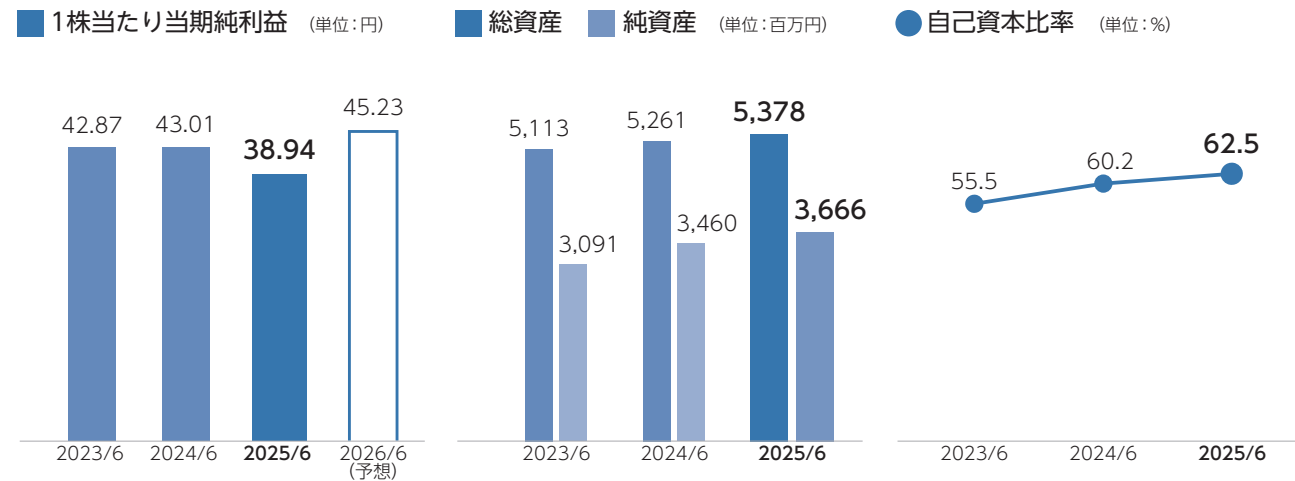
	取り組みと成果
Growth 成長投資領域	集中投資、新規顧客の獲得 ・人財投資を進め、営業・開発体制を整備 ・消防通信指令システム4件受注
Core 維持伸長領域	収益性の高い分野への人財のシフト ・SES事業を中心に人財シフト推進 ・SES事業でAIソリューションベンダーとの取引開始



トップメッセージ

おかげさまで、3つの事業セグメント（※2）全てで前期比増収となったことにより、2025年6月期の連結業績は、売上高6,421百万円（前期比3.1%増）となりました。一方で、最終年度に向けた収益基盤の強化のため、常時雇用者数の増加と事業戦略と連動した人財育成を計画し、人財投資を積極的に行ったことにもない人件費等の投資コストが増加した影響で、営業利益は583百万円（同11.6%減）、経常利益は584百万円（同11.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は386百万円（同8.7%減）となりました。経営指標として掲げた経常利益率は9.1%（前期10.6%）、株主資本利益率（ROE）は11.8%（前期14.1%）となりました。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向

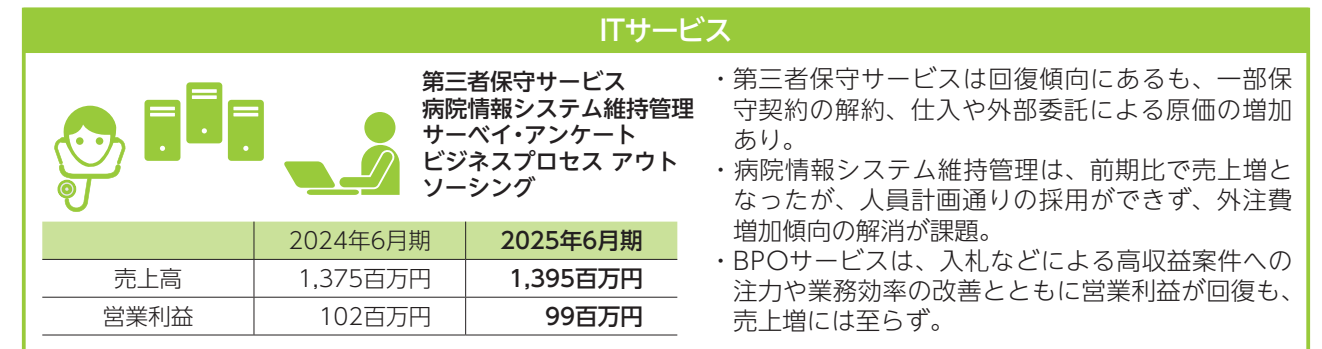
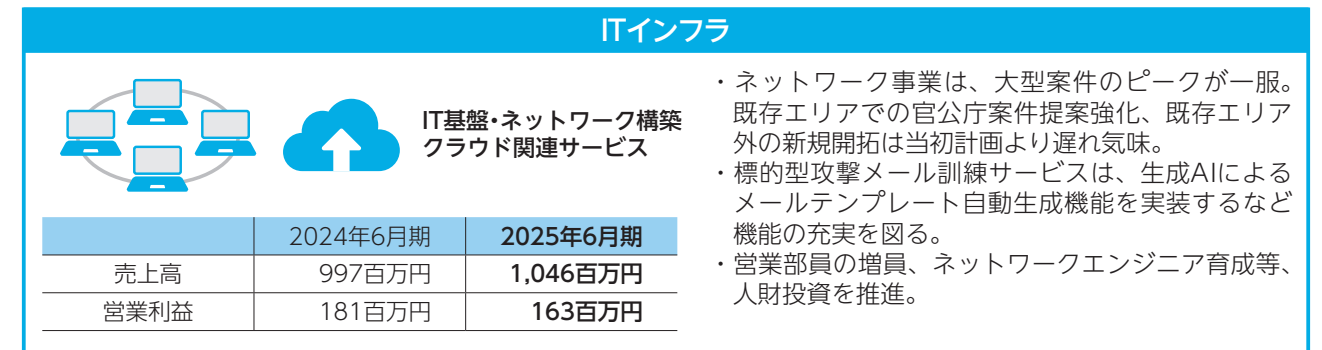
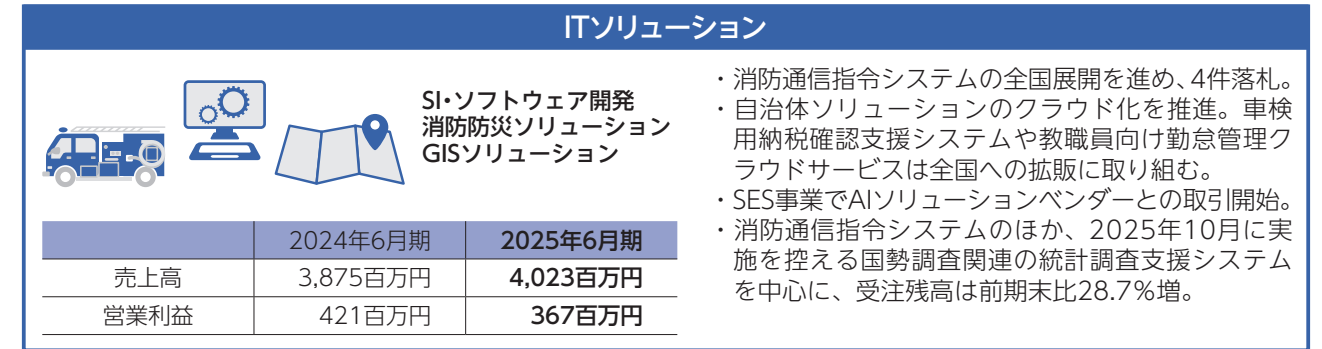


※自己資本比率=自己資本（純資産-新株予約権-非支配株主持分）/総資産

けた方針に基づき、ROE目標は、当初計画で3年間の平均15%以上に設定しましたが、2025年6月期のROEの実績は、11.8%（ROEの当初計画は13.7%）となりました。

※2 当社グループの事業セグメントは、ITソリューション、ITインフラ、ITサービスの3分野です。

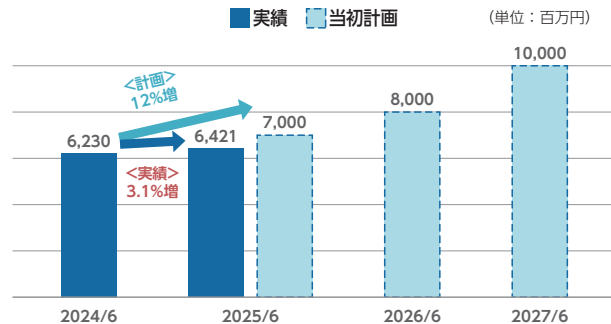
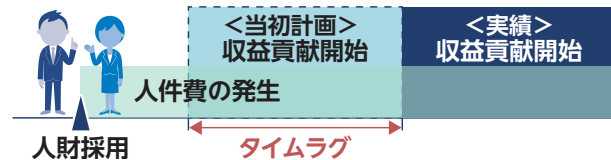
事業セグメント別の概況



中期経営計画を1年延長 速やかに見直しを図り、計画完遂を目指す

先に述べた通り、2025年6月期は、前期比で増収となりましたが、計画した売上高・各利益等の経営目標は下回る結果となりました。

2025年8月、当社グループは、2025年6月期の業績及び各事業戦略の進捗状況を踏まえ、当初計画で示した各年度の計画を1年ずつ繰り延べ、最終年度を1年間延長することを発表いたしました。延長にともない中期経営計画の名



称は、中期経営計画2028に変更しております。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針に基づき、ROE目標は、当初計画で3年間の平均15%以上としておりましたが、中期経営計画延長にともない、2028年6月期15%以上に修正いたします。

中期経営計画を1年間延長する判断に至った主な課題は2点、人財投資の収益貢献時期の正確な見積りとトップラインの伸長に繋がる新たな顧客の創造だと考えております。

課題1 人財投資と収益貢献のタイムラグ
人員増の効果による収益貢献が、計画に比べてタイムラグ。収益貢献時期の見直しが必要に。

課題2 トップラインの伸長
初年度の売上高は前期比約12%増を計画するも、実績は3.1%増と伸び悩む。

収益性・成長性の高い分野に投資を集中も、事業分野ごとの施策の進捗に差異発生。

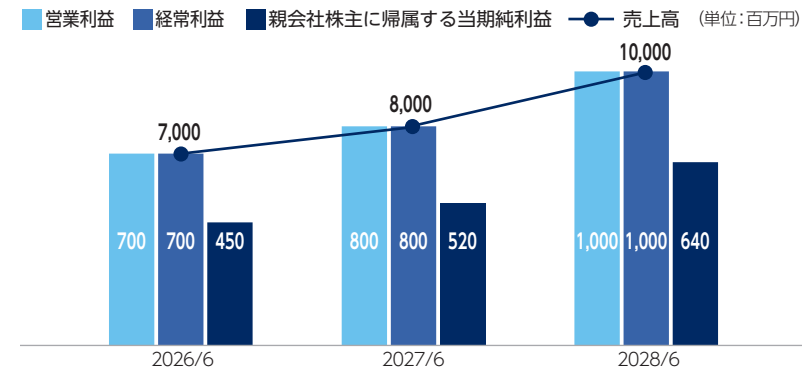
アクモスグループ 中期経営計画の延長

2025年6月期の業績、各戦略の進捗状況を考慮して、中期経営計画の最終年度を2028年6月期に延長し、各年の計画数値を1年繰り下げ。2028年6月期にグループ売上高100億円、ROE15%以上、時価総額100億円を目指す。

当初計画 中期経営計画2027
2024年7月～2027年6月

1年延長 中期経営計画2028
2028年6月まで

■経営目標



	中期経営計画2028		
	2026年6月期	2027年6月期	2028年6月期
株主資本利益率(ROE)	13.0%	14.1%	15.9%
経常利益率	10.0%	10.0%	10.0%
1株当たり配当金	25円	26円	32円

■資本政策

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針

- ・人財投資を中心とした事業投資を促進して中期経営計画の業績目標の達成に向けた取り組みを推進し、2028年6月期のROE15%以上を目指す

利益還元方針

- ・親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上
- ・成長投資を推進しつつ、株主還元を充実させるため、中期経営計画2028期間中は、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う、累進配当を適用

2026年6月期の展望 課題を解決し、中計を押し進める

2026年6月期は、当初の中期経営計画の経営目標を1年繰り延べ、売上高70億円、経常利益7億円を目指すことといたしました。前期課題の解決を図り、事業の拡大と高付加価値化に向けた施策に取り組んでまいります。

まず、人財投資と収益貢献のタイムラグの解消について、当社はグループ内で最も多くの新入社員を採用しており、入社後の研修期間は最長1年としておりますが、今後は研修成果指標を設け、習熟度に応じてOJTに移行できるよう制度に柔軟性を持たせます。また、全グループで実施している部門別採算管理で指標とする時間当たり付加価値（※3）と案件稼働率に加え、将来の需要と成長性も踏まえて事業を評価いたします。これにより、収益性と成長性が高い事業への人的資源を集中させ、事業戦略と人財戦略の連動性を高めてまいります。

トップライン伸長に向けた事業戦略

ITソリューション事業：当社内に新規開拓推進室を設置し、新たな顧客の創造を進める。消防通信指令システム等のプロジェクト増加に対応するため体制を強化。行政業務を中心としたクラウドソリューション（※4）の拡充を図る。

ITインフラ事業：ネットワーク事業の営業エリア拡大。首都圏域でのM&A推進。

ITサービス事業：外注から内製に移行しコスト削減。アライアンス・チャネル開拓を進める。

2026年6月期の連結業績は、売上高7,000百万円（前期比9.0%増）、営業利益700百万円（同19.9%増）、経常利益700百万円（同19.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円（同16.6%増）を予想しております。経営指標につきましては、経常利益率10.0%、ROEは13.0%を見込んでおります。

※3 時間当たり付加価値は以下のように定義しております。（収入－労務費以外の経費）÷総稼働時間＝時間当たり付加価値
※4 行政業務支援のクラウドソリューションは、サービスサイトを開設して拡販を進める。（車検用納税確認支援システムは11ページで詳しくご紹介しています。）



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、中期経営計画において、人財投資を中心に事業基盤の強化を目的とした投資を計画しており、一時的な理由による変動を避け、株主さまに対する安定的な配当を維持していく目的で、中期経営計画期間において累進配当を導入しておりますが、中期経営計画の最終年度を1年延長したことにともない、累進配当の期間も1年延長し、2028年6月期までといたします。

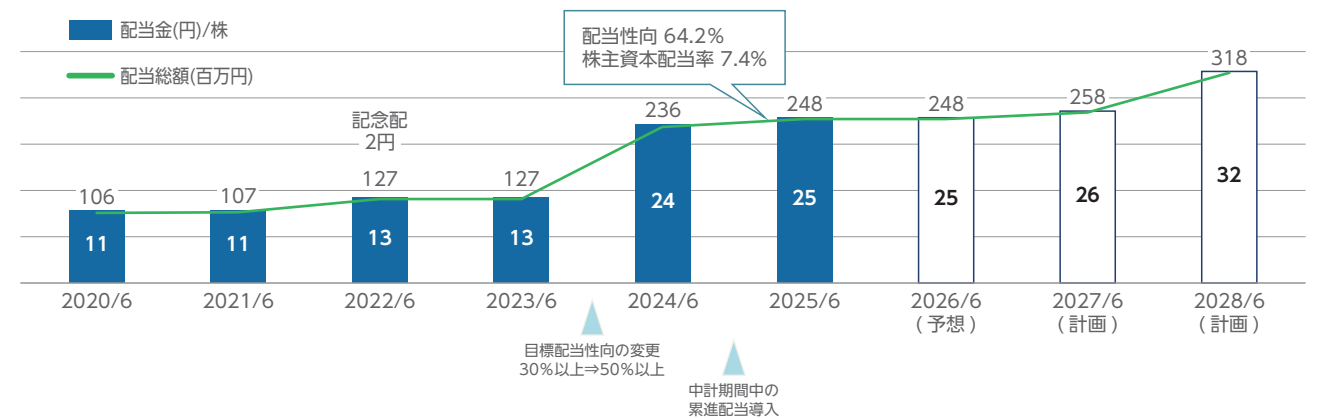
配当方針

連結の親会社株主に帰属する当期純利益に対する
配当性向50%以上

2025年6月期からの4年間 累進配当を適用

原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う

1株当たり配当金&配当総額の推移



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	第33期 2024年6月30日	第34期 2025年6月30日
資産の部		
流動資産	4,418,125	4,587,275
固定資産	843,123	791,348
有形固定資産	286,615	280,969
無形固定資産	242,910	221,732
投資その他の資産	313,598	288,647
資産合計	5,261,249	5,378,624
負債の部		
流動負債	1,430,355	1,421,068
固定負債	370,428	290,583
負債合計	1,800,784	1,711,652
純資産の部		
株主資本	3,162,942	3,360,655
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,219,291	1,258,509
利益剰余金	1,287,205	1,436,564
自己株式	△36,804	△27,668
その他の包括利益累計額	2,188	2,583
非支配株主持分	295,334	303,732
純資産合計	3,460,465	3,666,971
負債純資産合計	5,261,249	5,378,624

Point 1

資産の部

資産は、前期末に比べ117百万円増加しています。

主な理由は、受取手形及び売掛金の増加178百万円、仕掛品の増加112百万円のうち、現金及び預金の減少139百万円があったことによるものです。

Point 2

負債の部

負債は、前期末に比べ89百万円減少しています。

主な理由は、買掛金の増加86百万円のうち、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少75百万円、短期借入金の減少60百万円、未払金の減少39百万円があったことによるものです。

Point 3

純資産の部

純資産は、前期末に比べ206百万円増加しています。

親会社株主に帰属する当期純利益386百万円、資本剰余金の増加39百万円のうち、配当金の支払い236百万円があったことによるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)	第34期 (自 2024年7月 1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,230,020	6,421,748
売上原価	3,995,901	4,113,341
売上総利益	2,234,119	2,308,406
販売費及び一般管理費	1,573,772	1,724,421
営業利益	660,347	583,984
営業外収益	6,979	7,066
営業外費用	6,875	6,055
経常利益	660,451	584,996
特別利益	167	－
特別損失	8,550	1,334
税金等調整前当期純利益	652,068	583,661
法人税等	207,605	178,232
当期純利益	444,463	405,429
非支配株主に帰属する当期純利益	21,572	19,400
親会社株主に帰属する当期純利益	422,890	386,028

Point

連結損益計算書

当期は前期第3四半期末から連結した株式会社プライムシステムデザインの損益が加わっており前期比で3.1%の増収となりました。一方で採用及び人材育成を積極的に行っていることから、人件費（役員報酬及び株式報酬を除く）が前期に対し290百万円増加し10.8%増となっております。

売上高は6,421百万円（前期比3.1%増）、営業利益は583百万円（同11.6%減）、経常利益は584百万円（同11.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は386百万円（同8.7%減）となりました。

■ 連結包括利益計算書

(単位：千円)		
科 目	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)	第34期 (自 2024年7月 1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	444,463	405,429
その他の包括利益	2,245	395
包括利益	446,708	405,824
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	425,135	386,424
非支配株主に係る包括利益	21,572	19,400

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	第33期 (自 2023年7月 1日 至 2024年6月30日)	第34期 (自 2024年7月 1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,745	256,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 230,298	△ 13,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 199,713	△ 382,398
現金及び現金同等物の増減額	△ 82,266	△139,012
現金及び現金同等物の期首残高	3,016,782	2,934,516
現金及び現金同等物の期末残高	2,934,516	2,795,504

Point

連結キャッシュ・フロー計算書

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
法人税等の支払額187百万円、売上債権の増加177百万円があった一方、税金等調整前当期純利益583百万円、仕入債務の増加82百万円、非資金項目である減価償却費52百万円があったことによるものです。
（投資活動によるキャッシュ・フロー）
有形固定資産の取得による支出18百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、投資有価証券の償還による収入30百万円によるものです。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
短期借入金の純減額60百万円、長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払額235百万円があったことによるものです。

アクモス株式会社
車検用納税確認支援システム
～JNKS／軽JNKSデータを活用し、自治体業務を効率化～

自治体の負担が大きい車検時の納税確認業務をサポート

車検時に必要な「納税確認」は、車検業者等からの電話での問い合わせに自治体職員が対応していますが、納税証明書の電子化以降、車検業者の手元に十分な情報がない状態での問い合わせが増え、確認作業はより複雑で手間のかかるものになっています。

こうした自治体職員の負担を軽減するために開発したのが、車検用納税確認支援システムです。自治体に既にある自動車税納付確認システム（JNKS／軽JNKS）のデータを活用して本システムを導入することで、車検業者がパソコンやスマートフォンを使用していつでも・どこでも納税確認ができるようになりました。

グループ連携で販促活動を推進

全国の自治体へのご提案を進めるため、統計調査支援システムなどの製品を通して、千葉県のほか全国的に自治体との取引実績があるASロカス株式会社とともに、販路開拓にどのようなアプローチが有効かなど検討を進め、販促活動を展開しております。



▶車検用納税確認支援システム
サービスサイトはこちらからご
覧いただけます。



アクモス株式会社
社員が学び成長する環境の整備

アクモスグループは、中期経営計画において、会社が社員一人ひとりの自律的な成長と挑戦を支援し、成長した社員が事業戦略の推進者として活躍して、付加価値向上をけん引してくれることを目指しています。

アクモスでは、集合研修・通信教育・グループ間交流など、さまざまな階層の社員が学び、成長する環境を整備し、積極的な人財育成を進めています。2025年6月期は、アクモスグループ理念体系のアクモスフィロソフィー「人間力を磨く」を共通テーマとし、研修を通したフィロソフィーの浸透にも取り組みました。



2025年6月期に実施した研修（一部）

方針	研修名（対象）	概要、テーマ
各種研修制度の充実	新入社員研修	ビジネスマナー、技術基礎
	教育担当者研修	メンターとしての思考法、スキルアップ
	キャリアデザイン実習（入社2年目）	主体的にキャリアを考え、行動することの必要性
	階層別研修（一般社員向け） （主任向け） （課長向け）	傾聴力をつける 人間力を実務で活かす方法 人間力を高めるためのマインドやコミュニケーション
	管理職研修（次長以上向け）	経営者の視点、リーダーとしてどうあるべきか
自ら学ぶ環境の整備	e-learning研修（全社員向け）	ヒューマンスキル研修中心。階層別に受講テーマを推奨
グループ間人事交流制度の検討	アクモスグループ ウィングリーダー研修	部門別採算管理制度「ウィングシステム」の基本や活用のポイント
	法務セミナー（グループ合同）	健全な組織運営のためのコンプライアンス強化

株主アンケート結果報告

2024年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

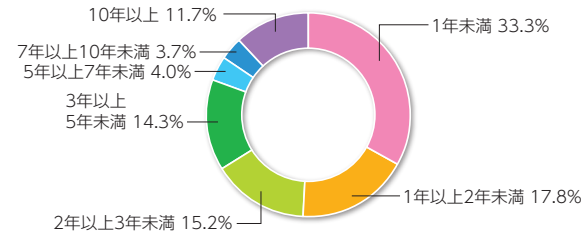
アンケート実施概要

実施期間：2024年9月26日～2024年10月31日

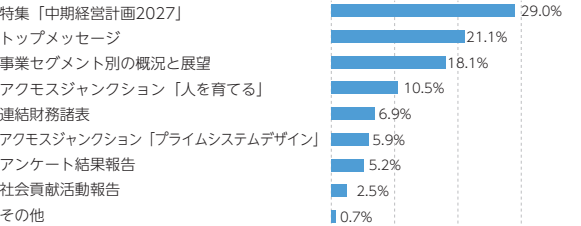
調査対象：2024年6月30日現在、100株（1単元）以上を保有する株主さま 6,898名

回答者数：471名（回答率6.8%）

Q1 ▶▶▶ 当社の株式の保有期間



Q3 ▶▶▶ 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください（複数回答可）



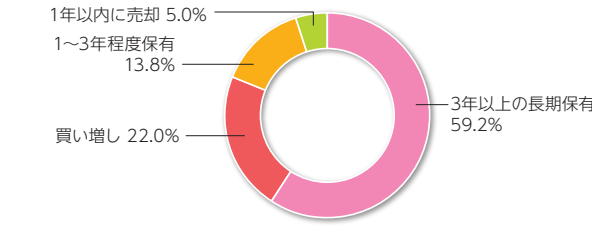
社会貢献活動報告

アクモスでは、茨城県では2例目となる企業版ふるさと納税（人材派遣型）制度の利用により、2024年4月1日から2025年3月31日までの1年間、茨城県教育庁に当社のシステムエンジニア1名を派遣し、ICTを活用した教育データ利活用の推進（※）を支援させていただきました。

当社はこれからも、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。

※ICT環境を活用して教育データを収集・蓄積・分析することにより、個々の特性等にあった多様な方法で子供たちが学習を進めることができるように教育データを可視化するデータ連携基盤（ダッシュボード）の創出。

Q2 ▶▶▶ 今後の当社株式の保有についての方針をお聞かせください



株主さまからのご意見

- ・新人教育にも注力されているので、新しい中期経営計画の下、更なる発展を期待しています。（40代男性）
- ・消防防災システムなど社会貢献度の大きい事業の伸長に期待します。（60代男性）
- ・気候変動の昨今、消防、防災事業は進化して欲しい。（70代男性）



茨城県庁で行われた「企業版ふるさと納税(人材派遣型)に係る人事交流感謝状贈呈式」にて。左は茨城県教育委員会教育長 柳橋様。

会社概要 / 株式の状況

■ 会社の概況（2025年6月30日現在）

商号	アクモス株式会社
設立	1991年8月23日
資本金	6億9,325万円
社員数	連結490名、単体308名
主な事業	・ITソリューション SI・ソフトウェア開発 消防防災ソリューション GISソリューション ・ITインフラ IT基盤・ネットワーク構築 クラウド関連サービス ・ITサービス 第三者保守サービス 病院情報システム維持管理 サーベイ・アンケート ビジネスプロセス アウトソーシング

■ 役員の状況（2025年9月25日現在）

代表取締役会長 兼 CEO	飯 島 秀 幸
代表取締役社長 兼 COO	清 川 明 宏
取締役副社長 兼 CTO	深 作 耕 一
社外取締役	小 竹 由 紀
社外取締役（常勤監査等委員）	西 山 達 男
社外取締役（監査等委員）	板 垣 雄 士
社外取締役（監査等委員）	松 尾 恭 志
取締役（監査等委員）	金 子 登志雄

※第34回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

■ 主な事業所

本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8F TEL：03-5539-8800
茨城本部	〒310-0015 茨城県水戸市宮町一丁目2番4号 マイムビル10F TEL：029-291-3410
茨城開発センター	〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7 TEL：029-270-5555
つくばオフィス	〒300-0847 茨城県土浦市卸町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F TEL：029-834-3391

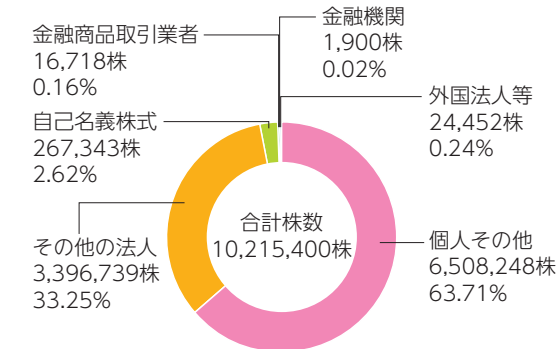
■ 株式の状況（2025年6月30日現在）

発行可能株式総数	32,300,000 株
発行済株式総数	10,215,400 株
議決権を有する株主数	7,906 名
上位10名の株主の状況	

株主名	持株数（株）
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	2,385,400
光通信株式会社	741,300
アクモスグループ社員持株会	376,737
飯島 秀幸	333,400
株式会社UH Partners 2	200,200
金子 登志雄	96,000
岡田 主税	81,000
外池 榮一郎	71,000
新居 紀孝	60,400
佐藤 博通	57,200

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 https://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html (電子公告により行うことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先※	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話：0120-232-711(通話料無料) 郵送先： 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

- 株券の電子化にともない、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種お手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。



本社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門一丁目21番19号
東急虎ノ門ビル8F
TEL：03-5539-8800
FAX：03-5539-8332



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した用紙、インク
を採用しています。



証券コード：6888



アクモス 株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8F
TEL：03-5539-8800 FAX：03-5539-8332 <https://www.acmos.co.jp/>

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画部
制作 宝印刷株式会社